

Parallels Desktop 16 for Mac について

Parallels Desktop® 16 for Mac は、Mac® で Windows と Windows アプリケーションが使用できるシンプルかつパワフルなソリューションです。再起動する必要はありません。詳しくは、Parallels Desktop 16 for Mac に関するドキュメントをご覧ください。

Parallels Desktop 16 の新機能

パフォーマンス

かつてないほど速く

時間は非常に重要なリソースの 1 つです。毎回の新しいバージョンで当社は、Parallels Desktop と仮想マシンをより高速に動作させることができるよう注力しています。

- Parallels Desktop 16 では、起動速度がバージョン 15 と比べて 2 倍の高速化。
- Windows のレジュームと終了が最大 20% 高速化。
- スナップショットへの復旧が最大 30% 高速化。

バッテリーの持続時間を長く

Parallels Desktop は、Mac が電源に接続されていないときにバッテリーを節約する機能を提供します。改良されたトラベルモードでは、Windows のコンピューティングリソースとネットワークリソースの消費量が減少しているため、バッテリー持続時間を最大 10% 延長できます。

グラフィック

より高速な DirectX 11 グラフィック

Parallels Desktop 16 は、AMD Radeon グラフィックカードを搭載した Mac 上で DirectX 11 グラフィックを最大 20% 高速化します。

Windows と Linux に対応して改良された OpenGL 3 サポート

このバージョンでは、より多くのアプリケーションをサポートするために、OpenGL 3.3

互換性プロファイルを完全にサポートしています。DIALux evo 9、Rhinoceros 6、Samson Connect、ProPresenter 6、ClinCheck Pro、Rhino 6 など、より多くの Windows アプリケーションを実行できます。

Linux では、Steam、Firefox Quantum Web ブラウザーなど、より多くのアプリケーションを使用できるようになりました。また KDE ウィンドウマネージャーのマルチモニターのサポートが向上しました。

macOS Big Sur 11 に対応済み

macOS Big Sur 11 のサポート

macOS Big Sur 11 はまだ正式にはリリースされていませんが、Parallels Desktop 16 はすでに次期オペレーティングシステムをサポートしており、一部の利用例では macOS Catalina よりも優れたパフォーマンスを示しています。macOS Big Sur で Parallels Desktop を稼働させる場合、非推奨のカーネル機能拡張ではなく、ネイティブの macOS システム機能拡張が使用されます。これにより、さらにシンプルなオンボーディングのユーザーエクスペリエンスを提供できます。

macOS Big Sur 仮想マシンでの Metal グラフィックのサポート

世界で初めて macOS 仮想マシン向けに Metal グラフィックをサポートしました。これにより、マップ、Pages、Final Cut Pro、Adobe Premiere などの Mac アプリケーションを実行できます。

注：macOS Big Sur（以降）に Parallels Desktop 16 をインストールしている場合に、macOS Big Sur（以降）の仮想マシンで Metal グラフィックがサポートされます。

新しいデバイスのサポート

macOS Big Sur 11 で動作する Mac では、Windows アプリで iLi0 自動スキャンテーブル（X-Rite 製）と CC デバッガー（Texas Instruments 製）を使用することができます。

ユーザビリティ

向上したトラックパッドジェスチャー

マップ、写真、Edge などの Windows 10 アプリケーションで、コンテンツを回転させるために

2

本指でピンチするジェスチャーのサポートを追加しました。ズームジェスチャーも改善され、よりスムーズなユーザーエクスペリエンスを実現しました。

自動的な一時停止に対応する設定可能なタイマー

Windows にアクティブなプロセスがない場合は、Mac の電源リソースを節約するために Windows は自動的に一時停止されます。仮想マシンの構成の [起動と終了] ペインで、任意の非アクティブ時間を指定し、その時間の経過後 Windows が一時停止するように設定できます。さらに、Parallels Desktop 16 では、この機能を新規ユーザーに説明するための新しいスニペットカードが表示されます。

インストール前の Windows エディションの選択

複数の Windows エディションで、ISO イメージから Windows をインストールするための作業が完全に自動化されました。Parallels Desktop 16 では、Windows のインストールを開始する前に任意のエディションを選択することができます。Mac の前に張り付いて手動でエディションを選択したり、ライセンスキーを入力したりする必要はありません。

外部ディスクのスマート検出

外部ディスクに保存された仮想マシンを起動すると、Parallels Desktop 16 は該当のディスクが Mac に接続されているかどうかを確認します。また該当のディスク名を使用してディスクを接続するように促されます。ディスクを接続すると、Parallels Desktop 16 により自動的に検出されて、ワンクリックで仮想マシンを起動できるようになります。

共有プロファイル: ネイティブの Mac アイコン

Parallels Desktop は、ネイティブの macOS の Finder アイコンを使用して、macOS と共有されているファイルエクスプローラーの Windows フォルダーを表示します。例えば、Windows の [ドキュメント] フォルダーが、macOS の [Documents] フォルダーと共有されている場合、どちらにも同じ macOS のアイコンが表示されます。

共有プロファイル: データの安全性

macOS と共有されている Windows のフォルダーでファイルを削除することを選択する場合、Parallels Desktop により、このファイルが Mac のハードディスクから完全に削除されることが警告されます。

気を散らさず集中力を維持する

macOS で「おやすみモード」を有効にしておくと、Windows 10 の「集中モード」が自動的に有効になり、Windows アプリからの音声やポップアップ通知に気を散らされることがなくなります。

デバイス

ディスク領域使用の最適化

未使用の領域をどの程度再利用できるかを手動で確認する必要がなくなりました。仮想マシン構成の [一般] タブで、毎回のシャットダウン時に Windows 内で使用されていないディスク領域を自動的にすべて Mac に戻すように設定できます（「再利用可能な領域」を参照してください）。

例えば、Mac 上のハードディスクで 40GB を占有している Windows OS があるとします。これに 10GB のファイルをダウンロードしたりコピーしたりすると、Windows OS のディスクは 50GB まで拡張されてしまいます。このファイルを削除しても、Windows OS のディスクは 50GB のままです。前述の機能を利用すれば、Windows のシャットダウン時にディスクのサイズが自動的に 40GB まで縮小されるようになります。

改良された Boot Camp のサポート

最大 32TB の大容量ハードディスク上に Boot Camp ベースの仮想マシンを作成して使用できます。

サムスンポータブル SSD X5 を Windows で使用する

Parallels Desktop 16 では、Windows 仮想マシンでサムスンポータブル SSD X5 外部ストレージを使用できます。

最近使用した Bluetooth デバイスの Windows への自動接続

Parallels Desktop は、最後に Windows に接続された Bluetooth デバイスを記憶して、次の Windows の起動時に自動で再接続を試みます。

Bluetooth のセキュアシンプルペアリング (SSP) のサポート

これにより、PIN コードを入力することなく、最新の Bluetooth デバイスをお使いの仮想マシンに接続できるようになりました。

共有プリンターの改良

Windows 10

用の新しいプリンタードライバーでは、両面印刷が可能になりました。また、A0～A6、JIS B5、JIS B6、Double Japanese Postcard Rotated、10 号封筒、Envelope ISO B、Envelope C5、Envelope DL、Envelope Monarch など、より多くの用紙サイズに対応するようになりました。

表示形式

ダークモードのサポートの向上

Parallels Desktop 16

では、ダークモードの外観が新しくなり、色、コントラスト、フォントなどが改良されました。

macOS Big Sur のネイティブな外観

macOS Big Sur で Parallels Desktop 16 を稼働させている場合、アップデートされた macOS のデザインに対応して、新しいモノクロアイコン、コントラスト、その他のアップデートされた UI 要素などが使用され、統一性のある外観を利用できます。

Pro Edition と Business Edition のみ

転送と追加の展開のための仮想マシンの準備

仮想マシンを別の Mac に転送したり、誰かと共有したり、多数の Mac に展開したりする必要がある場合、Parallels Desktop 16 のこの新機能により必要なプロセスを簡素化できます。コントロールセンターで仮想マシンを右クリックして、[転送の準備] を選択するだけです。Parallels Desktop 16 により、仮想マシンが 1 つのファイルにパッケージ化され、サイズが縮小されて簡単かつ高速にアップロードできるようになります。Parallels Desktop 16 では信頼性の高い In-place パッケージ化アルゴリズムを採用しています。これは Zip 圧縮とは異なり、仮想マシンをパッケージ化するために余分なディスク領域を必要としません。

業務管理者は、仮想マシンのパッケージを Parallels Desktop 16 Business Edition の新機能（企業向け仮想マシンプロビジョニング、以下を参照）と組み合わせて使用することができます。

カスタムホストオンリネットワークに命名する

ホストオンリネットワークを作成するときに、その名前を指定することができます。

Git リポジトリを使用した作業時の生産性の向上

特にソフトウェア開発に Parallels 仮想マシンを使っているユーザーに向けた機能で、Linux の共有フォルダーにある Git リポジトリに対する” git status” の実行が最大で 75% 高速化しました。

Business Edition のみ

社内仮想マシンのプロビジョニング

システム管理者は、必要なアプリケーションをすべてインストールした事前構成済みの Windows

仮想マシンを作成できます。パッケージを用意してクラウドストレージにアップロードし、Parallels マイアカウントからダウンロードリンクを提供して説明を付記することができます。

業務ユーザーが Parallels Desktop

を初めて起動すると、この仮想マシンをダウンロードするよう促されます。プロセスはシンプルで安全です。ユーザーはワンクリックですぐに利用可能な仮想マシンを入手できます。

新しいメジャーバージョンへのアップグレードに対応

Parallels Desktop for Mac Business Edition

のアップグレード作業には、システム管理者によるローカルアップデートサーバーのセットアップ、新しいメジャーバージョンの展開、アップグレードのための招待メールの作成などが伴うため、手順が煩雑になる場合があります。このプロセスをシンプルにするために、システム管理者は Parallels マイアカウント内で Parallels Desktop のファイルを新規のメジャーバージョンにアップグレードするための設定を行えるようになりました。

パスワードレスのアップデート

Parallels Desktop

のアップデートで、管理者の資格情報が不要になりました。ユーザーが、それぞれ利用している Mac

の管理者権限を付与されていない企業環境では、この改善により製品を最新の状態に保つ作業

が大幅に簡素化できます。

Parallels Desktop 16 で廃止または削除された機能

Parallels

カスタマーエクスペリエンスプログラムに参加しているユーザーの統計によれば、製品機能の中には、ほとんど使用されないか、まったく使用されないものがあります。またいくつかの機能は、新しく生じた技術的な制限のためにサポート継続が非常に困難になりました。当社は、これらの機能のサポートを停止するか、または Parallels Desktop から完全に削除して、より重要な機能やさらなる機能強化に専念することにしました。

削除された機能と廃止された機能については、以下を参照してください。削除された機能は Parallels Desktop 16

で利用できなくなります。廃止された機能は引き続き動作しますが、それらの機能に対するサポートは提供されず、次期製品バージョンで削除されることになっています。

上述の機能は、ビジネスに不可欠なものではないため、この変更が業務に与える影響はほとんどないものと考えられています。

削除された機能:

- Windows アプリケーションを Launchpad に追加する

macOS 10.15 Catalina で API が利用できなくなったため、Parallels Desktop 15 でこの機能は廃止されました。Parallels Desktop 16 では完全に削除されました。

- Launchpad の Windows アプリケーションフォルダー

この機能は、前述したのと同じ理由で削除されました。

- Windows アプリのコンテキストメニューでの追加操作

Dock で Windows

アプリのアイコンを右クリックすると、アプリのコンテキストメニューが表示されます。これには、” Mac

を常に起動したままにする” や” フルスクリーンで使用する” などの追加操作が含まれていました。これらの操作の使用頻度は非常に低かったため、Parallels Desktop 16 では、コンテキストメニューからすべての追加操作が削除されました。

- Internet Explorer および Edge パスワードの Mac キーチェーンでの保管

この機能は、Internet Explorer で動作せず、Edge

では動作しなくなる可能性が高かったため、Parallels Desktop 15

で廃止されました。この機能は Parallels Desktop 16 で完全に削除されました。

- PMU 仮想化

使用頻度が非常に低かったため、この機能は削除されました。

- 仮想マシンのクイックルックカードの”電源”ボタンと”構成”ボタン

技術上の制限により、これらのボタンは削除されました。

- Windows の [ごみ箱] と [ゴミ箱] の結合

技術的な制限によりこの機能を維持することが困難になったため、この機能は削除されました。

廃止された機能:

- Parallels Mounter

Parallels Mounter

により、仮想マシンがオフラインのときに、ハードディスクのコンテンツを参照することができました。この機能は、使用頻度が非常に低い一方で、サポートの継続が困難になったため、廃止されました。仮想マシンの `pvm/.pvs/.hdd` ファイルが、Parallels Mounter と関連付けられることはなくなりました。この機能は Parallels Desktop 17 では、コマンドラインインターフェイス (CLI) 経由でのみ利用可能になる予定です。

- マウスのスムーズスクロールチェックボックス

スムーズスクロールを有効にするチェックボックスは、仮想マシンの構成から削除されました。この機能は問題なく動作しますが、無効にするユーザーがほとんどいなかったためです。

- 垂直同期

垂直同期チェックボックスは、仮想マシンの構成から削除されました。この機能は問題なく動作しますが、無効にするユーザーがほとんどいなかったためです。

既知の問題

- 間もなく正式にリリースされる macOS Big Sur 11 での Parallels Desktop の動作について、確認が行われています。Big Sur に関わる既知の問題のリストについては、<https://kb.parallels.com/125039> を参照してください。
- Windows 10 Insider Preview ビルド 20175 を仮想マシンにインストールできない。
- Parallels Tools for Windows が、NTFS でフォーマットされた 4k セクターサイズのディスクを搭載する Boot Camp

仮想マシンにインストールできない。

- サイズ変更後の RHEL 8.2 仮想マシンウィンドウの左右に、縦方向の青い線が表示される。
- Manjaro 20.0.3 GNOME で動作する仮想マシンに、Parallels Tools がインストールできない。
- Fedora 32 Workstation で動作する仮想マシンで、Parallels Tools のインストール中にフリーズが発生する場合がある。

システム要件

- Intel Core 2 Duo、Core i3、Core i5、Core i7、Core i9、Intel Core M、または Xeon プロセッサを搭載した Mac コンピューター。
- Mac のオペレーティングシステムは、macOS Big Sur 11*、macOS 10.15 Catalina、macOS 10.14 Mojave、macOS 10.13 High Sierra です。
- 4 GB の RAM (8 GB を推奨)。
- Parallels Desktop インストール用として、ブートボリューム (Macintosh HD) に 500 MB のハードディスク空き容量。
- 仮想マシンに割り当てるディスク領域 (パフォーマンス向上のために SSD ドライブを推奨)。たとえば、Windows 10 の場合、少なくとも 16 GB のディスク容量が必要です。
- インターネット接続 (製品のアクティベーション、一部機能の利用など)。

*macOS Big Sur 11 が正式にリリースされたら、Parallels Desktop をアップデートしなければならない場合があります。

著作権表示

Copyright© 1999-2020 Parallels International GmbH. All rights reserved.

この製品は、米国著作権法および国際著作権条約およびその他の知的所有権条約によって保護されています。製品の基本となる技術、特許、および商標は、<https://www.parallels.com/about/legal/> に一覧表示されています。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です

Apple、Mac、Mac ロゴ、OS X、macOS、iPad、iPhone、iPod touch

は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

ここに記載したその他のマークおよび名前は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

お問い合わせ

製品の Web サイト: parallels.com